

参考資料 2 住民意向調査

参考資料 2 住民意向調査

参 2 - 1 住民意向調査の概要

1 目的、調査対象と方法、実施時期、配布・回収状況

(1) 目的

山元町都市計画マスタープラン策定にあたっての基礎資料として、町民の都市づくりやまちづくりに関する意向等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象と方法

アンケートの対象は、山元町に居住する 18 歳～75 歳の町民から 1,000 人を無作為に抽出し、調査票の配布及び回収は郵送にて行いました。

(3) 実施時期

- 配布：平成 27 年 6 月 26 日（金）
- 回収：平成 27 年 7 月 31 日（金）

(4) 配布・回収状況

配布数、回収数及び回収率は以下のとおりです。

■ 配布数、回収数及び回収率

配布数	回収数	回収率
1,000	395	39.5%

(5) アンケート結果について

単純集計結果については、無回答も計上しているため、回答合計数はすべての項目において 395（100.0%）となっています。

地域別クロス集計については、「問 1-3 居住地」の回答がなかった 7 通は集計に含めていません。従って、各地区の調査実数は、山下地域が 249、坂元地域が 88、新市街地が 24、仮設住宅が 22、その他が 5、回答合計数は 388（100.0%）となっています。

2 調査項目の設定

アンケートの調査項目は、都市計画マスタープランへの反映を見据え設定しました。

■ アンケートの調査項目

種 別	設問	設問の内容	都市マスへの反映
問 1 回答者の属性	1-1	性別	・ 分析のための属性把握
	1-2	年齢	
	1-3	居住地	
	1-4	職業	
	1-5	山元町での居住年数	
	1-6	家族構成	
問 2 町の現状の満足度	2-1	自然環境	・ まちの現状の満足度評価を主要な課題に反映
	2-2	健康福祉	
	2-3	都市基盤	
	2-4	教育文化	
	2-5	産業振興	
問 3 生活圏と移動パターン	3-1	①最寄品の買物先	・ 土地利用や交通に関する施策に反映
		②買回品の買物先	
		③日常的な行動（通勤・通学など）の行き先	
	3-2	①最寄品の買物先への交通手段	
		②買回品の買物先への交通手段	
		③日常的な行動（通勤・通学など）の交通手段	
問 4 町の将来イメージ	4	町の将来イメージに関する評価（前回都市マスアンケートより）	・ 全体構想に反映 ・ 前回都市マスとの比較
問 5 将来土地利用	5-1	住宅地整備に望むこと	・ 分野別整備の方針、実現化方策に反映
	5-2	商業地整備に望むこと	
	5-3	工業地整備に望むこと	
	5-4	農地整備に望むこと	
	5-5	山間部・山林に望むこと	
	5-6	山元 IC 及び(仮称)山元南スマート IC 周辺の土地利用に望むこと	
	5-7	土地利用の規制や誘導について望むこと	
問 6 将来の分野別整備方向	6-1	道路の整備について望むこと	・ 分野別整備の方針、実現化方策に反映
	6-2	公園緑地の整備について望むこと	
	6-3	河川・水路について望むこと	
	6-4	将来の産業について望むこと	
問 7 居住地の住みやすさとイメージ	7-1	居住地の住みやすさについての満足度	・ 地域別構想に反映
	7-2	居住地域のまちづくりについて望むこと	
問 8 まちづくりへの参加	8-1	まちづくり活動への参加の有無	・ 実現化方策に反映
	8-2	まちづくり活動についての考え	
問 9 自由意見	9	自由意見	・ 主要課題等に反映

参 2 - 2 住民意向調査結果

1 住民意向調査結果の集計・分析結果

アンケート調査の集計・分析の結果は以下のとおりです。

問 1 回答者の属性	
問 1-1 性別	・「男性」が 46.1%、「女性」が 45.8%と約半々である。
問 1-2 年齢	・「60 代以上の高齢者」が 52.7%と高く、「30 代未満」は 16.3%である。
問 1-3 居住地	・「山下地域」が 63.0%、「坂元地域」が 22.3%、「新市街地」が 6.1%、「仮設住宅」が 5.6%である。
問 1-4 職業	・「会社員」が 25.1%、「主婦」が 23.5%、「無職」が 19.7%、「農業」「サービス業」が 6%前後である。
問 1-5 山元町での居住年数	・「30 年以上」が 65.1%であり、10 年以上が 9 割以上占めていた。
問 1-6 家族構成	・「2 世代（親と子）」が 42.3%、「夫婦のみ」が 26.3%、「3 世代（親と子と孫）」が 19.5%である。

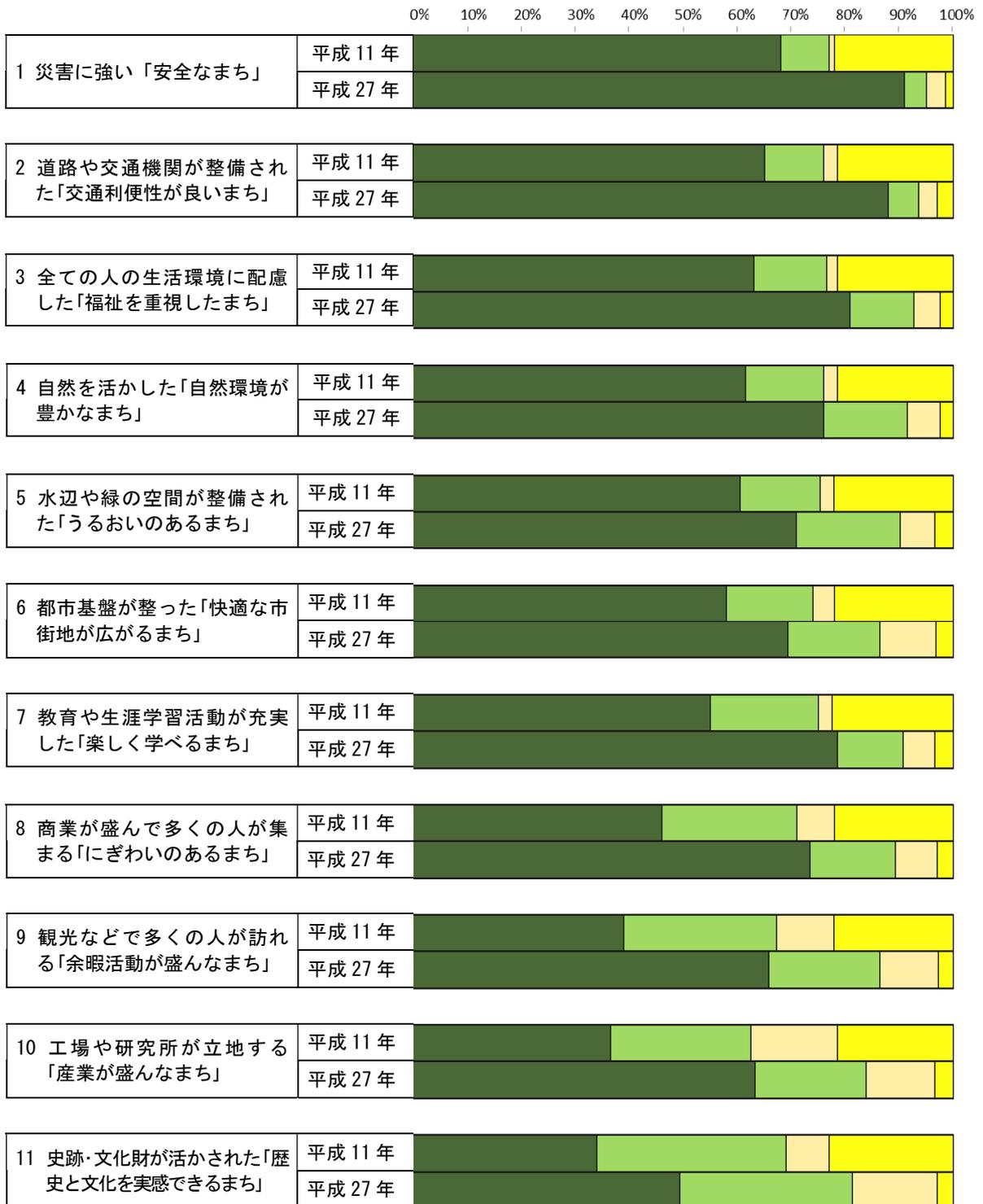
問 2 町の現況の満足度	
※各項目について、「満足」「ほぼ満足」「普通」「やや不満」「不満」の 5 段階で評価を行っていただき、「満足」「ほぼ満足」の割合が高いものを「満足度が高い」、「やや不満」「不満」の割合が高いものを「満足度が低い」として分析しています。	
問 2-1 自然環境	★農地や山林の満足度は「普通」の割合が高く、海岸部や河川・池などの水辺環境の満足度は低くなっています。
1 町西部の山地の森林	・全体で約半数が「普通」である。
2 町中央部の台地の果樹園や畑	・全体で約半数が「普通」である。
3 町東部の低地に広がる水田や畑	・全体で約半数が「普通」である。
4 海岸部の自然環境	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
5 河川や池などの水辺環境	・全体で満足度が低く、特に「新市街地」が低い。
問 2-2 健康福祉	★全設問で満足度が低くなっています。
1 バリアフリーなまちづくり	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
2 医療施設や救急医療体制	・全体で満足度が低く、特に「山下地域」が低い。
3 子育て支援施設の整備状況	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
4 老人や障がい者のための福祉施設の整	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
5 スポーツ・レクリエーション施設の整備状況	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。

問 2-3 都市基盤	★都市基盤整備が進められている「新市街地」において、満足度が高くなっています。
1 住まいの環境（日照や通風など）	・最も満足度が高い地域は「新市街地」で、最も満足度が低い地域は「仮設住宅」である。
2 商店の充実や買い物の利便性	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
3 幹線道路の整備状況 4 生活道路の整備状況	・幹線道路、生活道路ともに、全体で満足度が低い。
5 バスの利便性	・全体で満足度が低い。
6 公園や広場の整備状況	・全体で満足度が低い。
7 排水路の整備状況	・全体で満足度が低い。
8 景観や街並みの整備状況	・全体で満足度が低い。
9 上水道の整備状況 10 下水道の整備状況	・全体で「普通」の割合が高い。
11 地震、津波、風水害などの自然災害対策	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
問 2-4 教育文化	★全設問で「普通」の割合が半数以上となっています。
1 生涯学習の場の整備状況	・満足度は、「山下地域」「新市街地」が相対的に高い。
2 教育施設（小中学校）の整備状況	・満足度は、「坂元地域」が相対的に高い。
3 文化財の保護や継承	・満足度は、「新市街地」が相対的に高い。
問 2-5 産業振興	★農業・水産業の満足度は「普通」の割合が高く、観光・商業・工業の満足度は低くなっています。
1 農業の振興	・全体で約半数が「普通」である。
2 水産業の振興	・全体で約半数が「普通」である。
3 観光の振興	・全体で満足度が低く、特に「山下地域」が低い。
4 商業の振興	・全体で満足度が低く、特に「坂元地域」が低い。
5 工業の振興	・全体で満足度が低く、特に「仮設住宅」が低い。

問3 生活圏と移動パターン	
問3-1 買い物等の行き先	★最寄品の買物や日常的な行動（通勤・通学等）においても、町内移動が2割から3割程度と少ない状況です。
1 最寄品の買物先	①亙理町：51.4% ②町内：21.8% ③角田市：7.6% ④相馬市・新地町：5.6%
2 買回品の買物先	①名取市：28.9% ②亙理町：20.0% ③仙台市：17.7% ④相馬市・新地町 11.4% (町内は 1.3%)
3 日常的な行動(通勤・通学など)の行き先	①町内：28.6% ②亙理町：16.7% ③仙台市：14.4% ④岩沼市：4.6%
問3-2 交通手段	★いずれも、「自家用車」の割合が最も高く、8割程度を占めています。「バス」の利用者は少なく、1%から3%程度にとどまっています。
1 最寄品の買物先	①自家用車：89.1% ②自転車：3.3% ③バス：1.3%
2 買回品の買物先	①自家用車：86.8% ②電車：4.6% ③バス：2.8%
3 日常的な行動（通勤・通学など）の行き先	①自家用車：73.2% ②電車：6.1% ③自転車：2.3%

<p>問4 山元町の将来について</p> <p>※各項目について、「望んでいる」「ある程度、望んでいる」「どちらともいえない」「あまり望んでいない」「望んでいない」の5段階で評価を行っていただき、「望んでいる」「ある程度、望んでいる」の割合が高いものを「希望度が高い」、「あまり望んでいない」「望んでいない」の割合が高いものを「希望度が低い」として分析しています。</p> <p>※本調査項目は、前回のアンケート調査（平成11年10月実施）と同じであり、その比較を行います。（丸数字は順位を表します。）</p>	
1 災害に強い「安全なまち」	・希望度が90.9%①と高い。（前回は約68%①）
2 道路や交通機関が整備された「交通利便性が良いまち」	・希望度が87.8%②と高い。（前回は約65%②）
3 全ての人の生活環境に配慮した「福祉を重視したまち」	・希望度が80.8%③と高い。（前回は約63%③）
4 自然を活かした「自然環境が豊かなまち」	・希望度が75.9%⑤と高い。（前回は約62%④）
5 水辺や緑の空間が整備された「うるおいのあるまち」	・希望度が70.9%⑦と高い。（前回は約61%⑤）
6 都市基盤が整った「快適な市街地が広がるまち」	・希望度が69.3%⑧と半数以上を占めている。（前回は約58%⑥）
7 教育や生涯学習活動が充実した「楽しく学べるまち」	・希望度が78.5%④と高い。（前回は約55%⑦）
8 商業が盛んで多くの人が集まる「にぎわいのあるまち」	・希望度が73.4%⑥と高い。（前回は約46%⑧）
9 観光・レクリエーションなどで多くの人を訪れる「余暇活動が盛んなまち」	・希望度が65.9%⑨と半数以上を占めている。（前回は約39%⑨）
10 工業や研究所が立地する「産業が盛んなまち」	・希望度が63.2%⑩と半数以上を占めている。（前回は約37%⑩）
11 史跡・文化財が活かされた「歴史と文化を実感できるまち」	・希望度は49.4%⑪で、「どちらともいえない」が31.9%を占めている。（前回は約34%⑪）
○前回アンケート結果（平成11年10月実施）との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・1から11のいずれの項目も前回より希望度が10から30ポイント程度高くなっている。 ・前回より希望度が25ポイント以上高くなっている項目は、「8. 商業が盛んで多くの人が集まる「にぎわいのあるまち」」「9. 観光・レクリエーションなどで多くの人を訪れる「余暇活動が盛んなまち」」「10. 工業や研究所が立地する「産業が盛んなまち」」である。 ・最も希望度が高いのは、前回と同様「1. 災害に強い「安全なまち」」である。 ・前回との比較では、「楽しく学べるまち」が7位から4位、「にぎわいのあるまち」が8位から6位に順位を上げています。

■山元町の将来について（前回との比較）



■望んでいる ■どちらでもない ■望んでいない ■無回答

問 5 将来土地利用	
問 5-1 住宅地整備に望むこと	①既存住宅地の道路・公園等の適正な維持管理：50.1% ②既存住宅地の未利用地の住宅立地：22.0% ③3つの新市街地周辺での新たな住宅立地：12.9%
問 5-2 商業地整備に望むこと	①大型商業施設の誘致：30.1% ②新山下・新坂元駅周辺の店舗の充実：26.3% ③国道6号沿いの店舗の充実：16.2%
問 5-3 工業地整備に望むこと	①IC 周辺での工業立地・誘致：32.7% ②沿岸で新たな工業立地・誘致：27.6% ③丘陵地を開発して新たな工業立地・誘致：20.0%
問 5-4 農地整備に望むこと	①農地は基本的に保全：31.6% ②沿岸部での農地集約・農地整備：22.8% ③計画的な宅地開発等での減少はやむを得ない：22.3%
問 5-5 山間部・山林に望むこと	①山林は基本的に保全：40.8% ②散策路などレクリエーションの場の整備：25.6% ③計画的な宅地開発等での減少はやむを得ない：19.0%
問 5-6 山元 IC 及び(仮称)山元南スマート IC 周辺土地利用に望むこと	①保全区域と開発区域を定め、計画的に土地利用：43.0% ②IC 機能を活かすため、積極的な土地利用：37.2% ③自然環境に配慮し、宅地開発を抑制：11.4%
問 5-7 土地利用の規制や誘導について望むこと	①状況に応じ、メリハリをつけた規制・誘導：44.3% ②環境を守るため、町全体で規制・誘導を強化：26.6% ③新市街地における規制・誘導：14.2%
問 6 将来の分野別整備方向	
問 6-1 道路の整備について望むこと	①日常生活の安全性を高める生活道路の整備：55.4% ②沿岸部からの避難路にもなる幹線道路の整備：21.0% ③2線堤になる県道相馬亘理線の整備：13.4%
問 6-2 公園緑地の整備について望むこと	①身近に利用できる住宅地内の公園緑地の整備：35.7% ②沿岸部における防災公園の整備：26.1% ③山間部の自然を活用した公園緑地の整備：10.9%
問 6-3 河川・水路について望むこと	①大雨時の排水対策：47.6% ②雑草の伐採等、適正な維持管理：38.0% ③自然に配慮した修景整備：9.9%
問 6-4 将来の産業について望むこと	①交流を広げる魅力的な商工業への発展と雇用創出：42.3% ②地域資源を最大限に活かした観光・交流の新展開：24.1% ③観光・交流を意識した付加価値の高い農業への転換：18.7%
問 7 あなたが現在、お住まいになっている地域について ※問 7-1 について、「満足」「ほぼ満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階で評価を行っていただき、「満足」「ほぼ満足」の割合が高いものを「満足度が高い」、「やや不満」「不満」の割合が高いものを「満足度が低い」として分析しています。	
問 7-1 お住まいの地域の住みやすさ	・最も満足度が高い地域は「新市街地」で50.0%、最も低い地域は「坂元地域」で34.1%であった。
問 7-2 お住まいの地域のまちづくりについて	・全体及び「山下地域」「坂元地域」では、「地域活性化のため、商業地や工業地を整備する」が30%から40%程度で最も多く、「新市街地」「仮設住宅」では、「既存住宅地の道路や公園の整備等による住環境の改善」が約30%で最も多かった。

問8 まちづくりへの参加		
問8-1 今まで、まちづくり活動に参加したこと	①ない：73.9% ②ある：15.7% ③参加したかったが、参加の仕方が分からなかった：7.6%	
問8-2 まちづくり活動について	①まちづくりに関するアンケートなどは協力したい：61.8% ②自ら進んで参加はしないが、求められれば参加する：22.8% ③参加したくない：3.8%	
問9 自由意見		
記入人数：158人		
件数順位	概要	件数
1	町政や町の取り組みについて	60
2	道路・鉄道・バス等の整備について	39
3	町の人口について	37
4	町内の店舗・商業施設について	34
5	スポーツ施設・社会教育施設・公園等について	22
6	企業誘致や雇用について	22
7	町内の観光・イベントについて	15
8	保育所・学校等について	14
9	高齢化や福祉支援について	11
10	子育て支援について	10
11	病院・医療について	8
	その他	15

2 住民意向調査結果のまとめ

○町の現況の満足度

- ・自然環境は、**海岸部や河川・池などの水辺環境の満足度が低くなっています。**
- ・健康福祉施策（バリアフリー、医療施設・救急体制、子育て支援施設、高齢者福祉施設、スポ・レク施設等）は、**全体的に満足度が低くなっています。**
- ・都市基盤は、**上下水道の整備状況に対する満足度は普通**ですが、その他の住環境、買い物
の利便性、道路整備状況、バス利便性、公園・広場や排水路、景観・町並みの整備
状況、自然災害対策等は、**新市街地を除き、満足度が低くなっています。**
- ・教育文化（生涯学習の場、小中学校の整備、文化財の保護）は、**全体的に普通の割合
が半数以上**となっています。
- ・産業振興は、**農業・水産業振興に対する満足度は普通**ですが、**観光・商業・工業の振
興の満足度が低くなっています。**

○生活圏と移動パターン

- ・最寄品の買物や日常的な行動（通勤・通学）においても、**町内移動が 2 割から 3 割程
度と少ない状況**です。
- ・移動手段は、「**自家用車**」の割合が**最も高く**、8 割程度を占めています。「**バス**」の利用
者は**少なく**、1%から 3%程度にとどまっています。

○山元町の将来

- ・希望度が高い順序は以下の通りであり、**いずれも前回より高くなっています。**
①「安全なまち」、②「交通利便性が良いまち」、③「福祉を重視したまち」、④「楽し
く学べるまち」、⑤「自然環境が豊かなまち」、⑥「にぎわいのあるまち」、⑦「うるお
いのあるまち」、⑧「快適な市街地が広がるまち」、⑨「余暇活動が盛んなまち」、⑩「産
業が盛んなまち」、⑪「歴史と文化を実感できるまち」
- ・特に「**にぎわいのあるまち**」「**余暇活動が盛んなまち**」「**産業が盛んなまち**」の伸びが
大きくなっており、前回に比べ、「**楽しく学べるまち**」が 7 位から 4 位、「**にぎわいの
あるまち**」が 8 位から 6 位に順位を上げています。

○将来土地利用

- ・住宅地整備では、「**道路や公園等の適正な維持管理**」と「**既存住宅地の未利用地や 3 つ
の新市街地周辺での新たな住宅立地**」が望まれています。
- ・商業地整備では、「**大型商業施設の誘致**」と「**新駅周辺や国道 6 号沿いの既存店舗の充
実**」が望まれています。
- ・工業地整備では、「**IC 周辺・沿岸部・丘陵地での工業立地・誘致**」が望まれています。
- ・農地整備では、「**保全・集約整備を基本とする**」ことが望まれています。
- ・山間部・山林では、「**保全を基本としつつ、散策路等の整備**」が望まれています。
- ・山元 IC・山元南スマート IC 周辺では、「**計画的な土地利用**」が望まれています。
- ・土地利用の規制や誘導は、「**土地利用の状況に応じた対応**」が望まれています。

○将来の分野別整備方向

- ・道路は、「日常生活の安全性を高める生活道路」と「避難路・2線堤」の整備が望まれています。
- ・公園緑地は、「身近に利用できる住宅地内や沿岸部・山間部」での整備が望まれています。
- ・河川・水路は、「大雨時の排水対策と適正な維持管理、修景整備」が望まれています。
- ・将来の産業については、「商工業の発展による雇用創出と地域資源を活かした観光・交流」が望まれています。

○居住地域の住みやすさ

- ・「新市街地」の満足度が高く、「坂元地域」の満足度が低くなっています。

○地域のまちづくり

- ・「地域活性化のため商業地や工業地の整備」と「既存住宅地の道路や公園の整備等による住環境の改善」が求められています。

○まちづくりへの参加

- ・これまでに参加された方は少ないですが、まちづくり活動については「アンケートや求められれば参加する」意向のある方が多くなっています。

○自由意見

- ・町政や町の取り組み、道路・鉄道・バス等の整備、町の人口、町内の店舗・商業施設、スポーツ施設・社会教育施設・公園等、企業誘致や雇用、町内の観光・イベント、保育所・学校等、高齢化や福祉支援、子育て支援、病院・医療などの記述が多くなっています。